質問事項　「2020年東京オリンピック・パラリンピックにおけるドイツとの交流について」

沼田中学校　３年　大橋（おおはし）　弘典（ひろのり）（１２番）

　沼田市は東京オリンピック・パラリンピックにおけるドイツフェンシングチームの事前合宿地になりました。沼田市はフュッセン市と姉妹都市でもあるので、ドイツとの文化交流をさらに深めていくことと思います。そこで僕はドイツの文化や習慣を小中学生が学べる機会をつくることを提案します。理由は大きく２つあります。

　１つ目は小中学生がドイツの文化を学ぶことで事前合宿やそれに伴う交流の気運が高まると考えるからです。多くの学生がドイツの文化や習慣を理解してドイツの方と交流できれば、より良い事前合宿になるはずです。

　２つ目は合宿後もドイツとの交流が続くことが期待できるからです。ドイツの方と交流した学生が大人になり、交流をより深められると考えます。

　ドイツと日本では文化や習慣の違いが沢山あると思いますが、より良い文化交流を進めるために、小中高生が関われる未来志向の方策などございましたらお答え下さい。